2026年
11・12
月号

東神戸病院News

編集・発行：東神戸病院 広報/宣伝委員会 Vol.213

「住み慣れた場所で、これまでも。これからも。」― 訪問診療のご紹介

自宅で受けられる医療「訪問診療」

「通院が難しくなってきた」「退院後もできれば自宅で過ごしたい」――そんな時に力になるのが訪問診療です。東神戸病院では、医師が患者さんのご自宅や施設を定期的に訪問し、診察や治療を行っています。病状や生活環境を踏まえ、ご本人が自宅での療養を希望し、自宅での診療がより適していると判断される方を支援しています。

地域の在宅療養を支えて50年

当院の在宅医療は1970年代から続き、約50年にわたり「どんな病状でも、できるだけ住み慣れた場所で暮らしたい」という願いに応えてきました。現在は24時間体制の訪問看護・往診体制を整え、急な体調変化にも対応しています。必要な時には入院できる体制も整え、病状が悪化した時の治療や、ご家族の休息などを目的とした短期入院、看取りまで、在宅医療と病院の医療を切れ目なくつないでいます。

（急な往診については、当院で訪問診療を受けている患者さんを対象としています。）

自宅でも、さまざまな治療や検査ができる

必要に応じて、自宅でも在宅酸素療法や人工呼吸器、ハイフロー（温めて加湿した多くの酸素を鼻から送る治療）、CPAP（マスクから空気を送り、呼吸を助ける治療）などを行うことができます。さらに、超音波検査、レントゲン、心電図などの検査、



訪問リハビリ、栄養指導、薬の支援など、多職種が連携して療養生活を支えています。

「ほぼ在宅、時々入院」を支える

在宅療養は、医師だけで支えるものではありません。訪問看護師、リハビリ職、ケアマネジャー、介護事業所、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど、地域のさまざまな専門職が力を合わせ、ご本人とご家族の暮らしを支えます。当院が大切にしているのは、「ほぼ在宅、時々入院」という考え方です。必要な時には病院の力も借りながら、その人らしい暮らしを支えていきます。「まだ訪問診療が必要か分からない」という段階でもかまいません。退院後の生活に不安がある方、最近病院へ通うことが大変になってきた方も、まずはご相談ください。



「先生は何科ですか？」― 総合診療医のお仕事

今回は、総合診療についてお話しします。

私は今、総合診療医として働いていますが、患者さんから「先生は何科の専門ですか？」とよく聞かれます。私は「総合診療です」と答えるのですが、具体的にどのような診療科なのか、なかなかピンとこないですよね。

専門分化した医療から、総合診療へ

現代の医療は、専門分化することで大きく発展してきました。循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、免疫内科など、それぞれの分野を極めた専門医が高度な医療を提供することで、多くの病気の治療成績が向上してきました。

しかし近年、高齢化などを背景に、一つの病気だけでなく、複数の病気を同時に抱える患者さんが増えています。また、「最近疲れやすい。歳のせいかな」「健康診断の結果について相談したい」「寝つきが悪い」「予防接種について聞きたい」といった、どの診療科に相談すればよいのか迷うような相談もあります。

こうした中で、専門分化した医療だけでは対応が難しい場面も出てきました。専門的な病気についてしっかり診てもらえる一方で、複数の診療科を受診する必要が生じたり、病気以外の健康上の悩みや予防について、どこに相談すればよいのか分かりにくかったりすることもあります。

一人の人間を総合的に診る

そこで求められるようになったのが、病気だけでなく、一人の人間を総合的に診る医師です。こうした役割を担うのが、家庭医や総合診療医です。総合診療は、新しい専門医制度において19番目の基本領域として位置づけられ、2018年度から専門研修が始まりました。

総合診療医は、風邪やおなかの痛み、皮膚のトラブル、生活習慣病、こころの不調まで、多岐にわたる相談に対応する身近な医師です。

専門的な治療が必要な場合には、適切な専門医を紹介します。喘息や心不全、高血圧など複数の病気を抱える方も、全体を見ながら診療し、必要に応じて専門医と連携します。また、病気のない方からの健康相談にも応じます。「健康診断で引っかかった」「たばこをやめたい」といった相談も歓迎です。 さらに、患者さん本人の病気だけでなく、ご家族の状況や生活上の困りごとにも目を配り、必要であればソーシャルワーカーや行政などとも連携します。



診察中の浅田医師

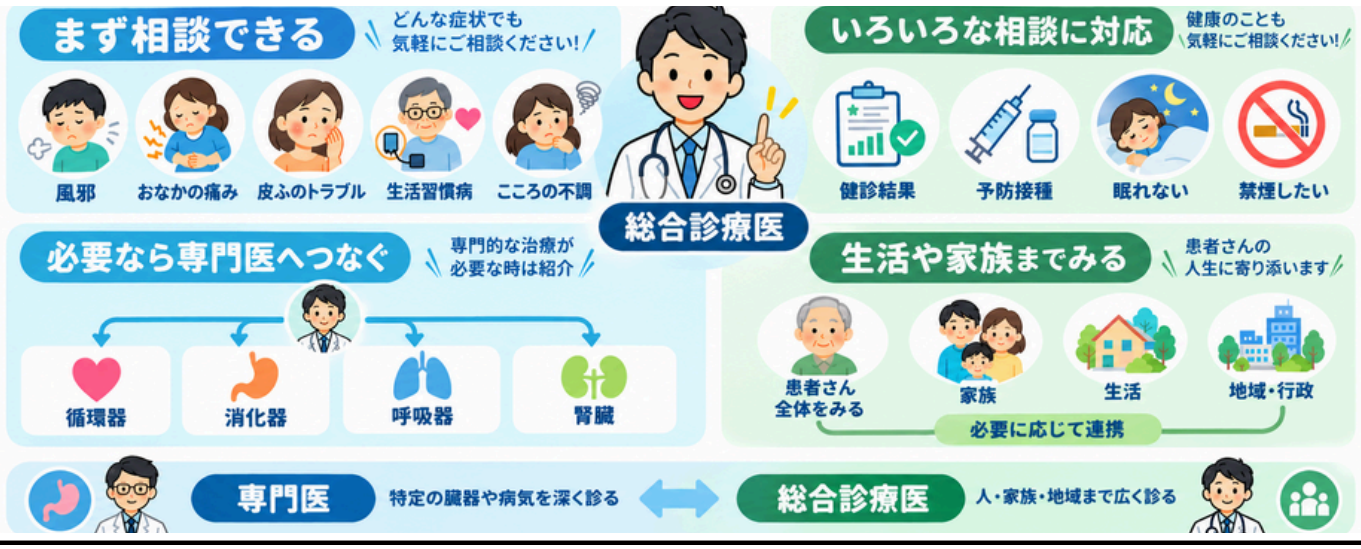
病気だけでなく、生活・家族・地域まで

各分野の専門医が特定の臓器や疾患を深く診ることを得意とするのに対し、総合診療医は、患者さんの生活や家族、地域まで視野を広げて診ることを得意とします。また、専門的な治療が一段落した後も継続して関わり、長期にわたってその方の健康を支えていけることも大きな特徴です。

皆さんの近所にも、何でも相談に乗ってくれる「かかりつけ医」がいると思います。総合診療医とは、そんな皆さんに頼りにしていただける「かかりつけ医」を目指して、幅広い診療能力を身につけるための研修を受けた医師です。

さまざまなニーズに応えられるよう、これからも日々研鑽を重ねていきます。

総合診療専門医　浅田 友啓



病院リハセラピストが推す　～脳トレ体操～

寒い季節になり外出する機会が減っていませんか？そんな時にお家でできる脳トレ体操をご紹介します。

①　右手を前に突き出し「パー」を作り、左手は胸に当てて「グー」を作る



②　次は反対に左手を前に出し「パー」、右手は胸に当てて「グー」



③　これを繰り返しながら足踏みも一緒に行う



④　グーとパーを入れ替えてやってみましょう
難易度を上げたい時は立ちながらしたり、リズムに合わせたりしてみましょう



リハビリスタッフから一言

「頭と身体を同時に使うのは認知症予防に最適です。また、指先を動かすことで血行改善にもつながり冷え性やむくみの改善にもつながります。無理のない範囲で少しずつ毎日続けましょう！」

検査用女性トイレを リニューアル しました

外来や健康診断などで尿検査の際にご利用いただく検査用女性トイレを、内装や洗面スペースを一新し、明るく清潔感のある空間にしました。



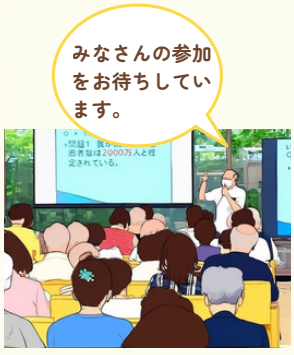
入口の扉を引き戸に変更
検査時に、検体容器やお荷物を持っての移動がスムーズに。

内装や洗面スペースを一新
明るく清潔感のある空間になりました。

これからも患者さんや健診を受けられる皆さまに、安心して気持ちよくご利用いただける院内環境づくりに努めてまいります。

東神戸病院 オープン講座 予定一覧

毎月第3土曜日14時開催



どなたでも参加OK！　もちろん無料です！
健康のこと、病気のことを気軽に学んでみませんか？
「ちょっと聞いてみたい」だけでも大丈夫です。

11/14	糖尿病グループ・ふれあい会「糖尿病と腎臓」（11/14のみ第2土曜日に開催です）
12/19	摂食嚥下リハチーム　「高齢化と嚥下」
1/16	谷口医師　睡眠時無呼吸症候群
2/20	栄養科　高齢者の食事

問い合わせ　東神戸病院　医局事務課（担当：中）
078-841-5731

外来診療体制表（2026年10月6日現在）

受付開始時間	診療時間
午前　8：30～	8：45～12：00
夜間　16：30～	17：00～19：00

診療科目	時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	＊遠山　＊藤末 ＊浅田【1・3】 (一般) 鱸 新患外来	＊藤末　＊瀧本(和) ＊遠山/馬田(隔週) 松本(郁) 新患外来	＊高島　＊瀧本(和) ＊馬田 瀧本(恭) 新患外来	＊瀧本(和)　＊大槻 ＊藤末 馬田 新患外来	＊武村【2・4】 ＊永野 佐伯 谷口【1・3・5】 新患外来	＊遠山【4】 ＊馬田(一般)【1】 松本(成) 新患外来
	午後	＊大槻(糖尿病) ＊吉川(緩和ケア)	＊馬田(糖尿病)	＊遠山(循環器)	＊遠山(循環器) ＊高島(リハ) ＊瀧本(和)(被ばく)		
	夜間	高島　　藤末 水間				＊遠山(一般) ＊大槻(一般) 瀧本(和)	
外科	午前	菅本		菅本		菅本	菅本【1・3】
消化器外科 肛門科	午前		高村		高村		高村【2・4】
整形外科	午前	＊藤井(一般あり)	合田	＊藤井(一般あり)	合田	＊藤井(一般あり)	
	夜間					合田	
小児科	午前		＊森岡			＊森岡	＊森岡【月1回】
	午後	＊森岡(喘息特診)	＊森岡			＊森岡	
	夜間	＊森岡(喘息特診)					
神経科 心療内科	午前	＊千古	＊担当者	＊千古	＊千古	＊千古	
	午後			＊千古 (ものわすれ外来)	＊千古		
	夜間					＊千古	

・【　】内の数字は第〇週目を表しています。

・名前の前に＊印がついているのは予約診療です。但し（一般）（一般あり）と書かれている場合は一般診療も行っています。

・急病の場合はこの時間の限りではありません。お電話にてご相談ください。

特定医療法人　神戸健康共和会

東神戸病院

〒658-0051　神戸市東灘区住吉本町１丁目24番13号
電話：078-841-5731
FAX：078-822-6877
健診予約：078-841-5673

病院HP

東神戸病院　SNS日々配信中

Facebook　Instagram

